

総合工学科電子情報工学コース カリキュラムマップ[°]

赤字は総合工学教育科目、基幹教育科目(コアカリキュラム)

青字は基盤教育科目(コアカリキュラム)、緑字は応用教育科目

区分		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
大学基礎科目		スタートアップセミナー 英語Ⅰ 大学基礎 英語Ⅰ コミュニケーション データサイエンスⅠ スポーツ健康科学A	キャリア教育入門 英語Ⅰ 大学基礎 英語Ⅰ コミュニケーション データサイエンスⅡ						
共通教育科目（副専攻科目）	歴史・文化分野 環境・科学分野 健康・医療・福祉分野 教育・公共分野 社会・経済分野 国際・外国語分野	13単位以上取得 (13単位の中にはスポーツ健康科学B、 英語Ⅰ TOEIC、科学的地球環境概論Ⅰ を含めること)							
専攻基礎科目	〔情報〕 〔数学〕 〔物理・化学〕	基礎微分積分学Ⅰ 基礎線形代数学Ⅰ 基礎物理学Ⅰ	基礎微分積分学Ⅱ 基礎線形代数学Ⅱ 基礎物理学Ⅱ	計算機基礎 基礎物理学ⅢA 化学・物理実験					
総合教育	安全教育・工学倫理 電気電子入門実験 社会共創概論			先端技術基礎	電気計測実験	電子情報工学実験Ⅰ 実地研修 インターンシップ・II 電子情報工学特別講義Ⅰ	電子情報工学実験Ⅱ 実地研修 インターンシップ・II 電子情報工学特別講義Ⅱ	卒業研究 長期インターンシップ(一貫コース) 専門英語 電気法規 通信法規	卒業研究 長期インターンシップ(一貫コース)
専門教育科目	電子情報工学の基礎 半導体工学分野 デジタル工学分野 電子情報工学の関連分野 (ロボット、通信、エネルギー、 材料科学等)	基礎電気回路論Ⅰ 化学Ⅰ	基礎電気回路論Ⅱ 化学Ⅱ	ベクトル解析 常微分方程式 半導体・デジタル概論 情報理論	フーリエ解析と偏微分方程式 複素関数論 確率・統計 電磁気学Ⅰ 電気回路論Ⅰ 半導体工学 固体物理学 計算機工学	電磁気学Ⅱ 電気回路論Ⅱ 電子回路工学Ⅰ 量子力学Ⅰ	電子回路工学Ⅱ 半導体工学 量子力学Ⅱ 物性物理学 半導体プロセス工学	電子デバイス工学 集積回路工学 信頼性工学 知的システム設計PBL 通信システムとネットワーク	
				プログラミング演習	統計力学 信号処理 アルゴリズムと人工知能				
					制御工学Ⅰ 電気機器工学 解析力学	電気機器設計 パワーエレクトロニクス 情報通信工学 電気電子材料	制御工学Ⅱ 電気エネルギー工学Ⅰ 高電圧工学 光・電磁波工学 光エレクトロニクス ナノ物性計測学	電気エネルギー工学Ⅱ	

工学部総合工学科電子情報工学コース

科目区分/領域	到達目標	ディプロマ・ポリシー (DP)との関連					
		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
総合教育 エンジニア教育	学生は、エンジニアとして多角的視点から論理的に物事を考えることができる。	◎		○	○	○	
	学生は、エンジニアとしての豊かな教養と高い倫理性をもって物事に取り組むことができる。			○	○	○	◎
	学生は、エンジニアとして有する知識を活かして新しい概念を創造し、それをプレゼンテーションし、議論することができる。	○		◎	◎	○	
電子情報工学の基礎	学生は、電子情報工学に関する基礎知識について説明することができる。	◎	○	○	○		
	学生は、電子情報工学に関する諸現象について数学的な表現を用いて論理的に説明することができる。	◎	○	○	○	○	
	学生は、電子情報工学に関する基礎的な知識を実際の技術や製品と関連づけることができる。	○	◎	○	○	○	
電子情報工学の応用	学生は、電機・電力・情報・通信・量子・光・電子デバイス、材料・物性に関する基礎知識について説明することができる。	◎	○				
	学生は、電機・電力・情報・通信・量子・光・電子デバイス、材料・物性に関する技術を課題解決のために利用することができる。	◎	○	○			

DP1: 幅広い教養とそれに基づく多面的思考能力を身に付けている。

DP2: 半導体分野の基礎知識を身につけ、科学技術が社会や自然環境に及ぼす影響を理解し、責任ある技術者として行動できる。

DP3: 電子工学の幅広い専門知識を有し、これらを実課題に活用することができる。

DP4: 領分野の人との協働作業に必要な協調性を身に付けている。

DP5: 國際社会で活躍する人材として、コミュニケーション力およびプレゼンテーション能力を有している。

DP6: 技術者に必要な倫理観を身に付けている。